広　報
# 下之郷
№５４
発行日　２００５．７．４
編集　郷づくり広報部会

＝自然を愛し　人を愛する
豊かな心を　育てよう＝

区民球技大会　6／5

目次:


| | |
|---|---|
| ３年ぶりのグランドゴルフ大会 | 1 |
| 集落懇談会 | 2 |
| おたけさんまつり | 3 |
| 区民総出の除草作業・サルビア定植・視察研修 | 4 |
| 営農コーナー　西小だより | 5 |
| ふるさと大発見 | 6 |
| 難解語に挑戦　ひとこと | 7 |


## 私たちの区

2005. 6月1日現在

*戸数　210戸

*人口　男410　女432
計　842人

# 第23回区民球技大会

## ＝3年ぶりのグランドゴルフ大会＝

一昨年、昨年と二年続きで雨で流れた区民球技大会。今年は天候に恵まれ、六月五日(日)、三年ぶりのグランドゴルフ大会が開催されました。

お年寄りから子どもまでみんなが楽しめるグランドゴルフ。終日にぎやかな歓声が甲良中グランドに響いていました。

年々人と人とのつながりが薄れていくなか、こうした区民のみんなが交流できる機会はこれからも大切にしていきたいものです。

**【競技の結果】**

**団体優勝**　　第 ８組
〃　**準優勝**　第 ５組
〃　**３位**　　第 10組

**個人優勝**
　**Ａ会場**　松宮　実さん
　**Ｂ会場**　辻　　博士さん
　**Ｃ会場**　安澤　慶治さん

**ホールインワン賞**

　阪東さゆりさん他27名

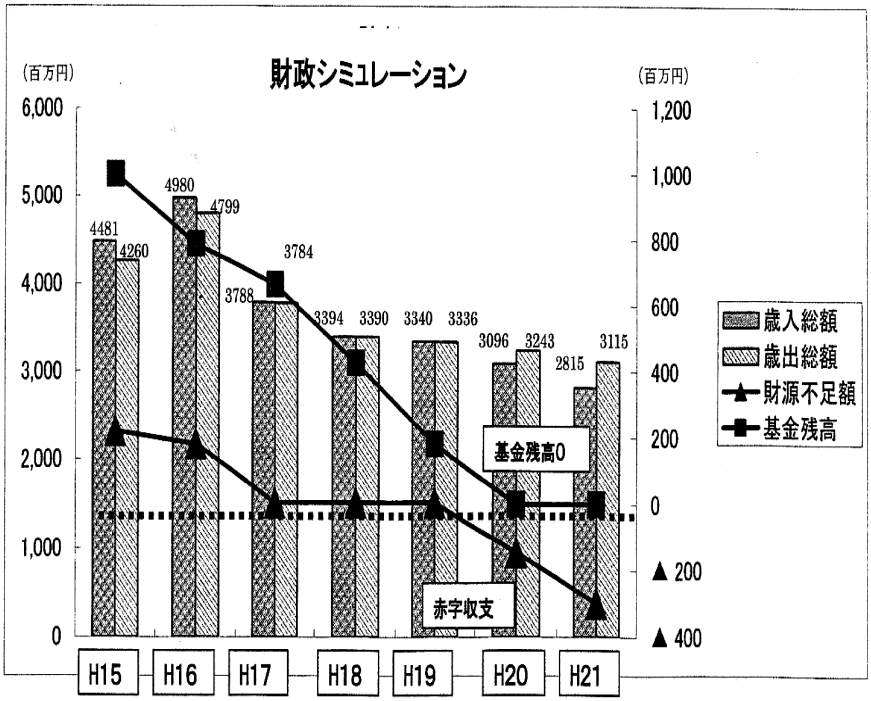
# 集落懇談会

六月十九日（日）、農事集会所で集落懇談会が開かれました。町長さんはじめ、教育長さん、役場職員さんら十余名の方が来て下さり、町財政の現状や下之郷区の今後について話し合われました。

## ■このままだと平成二十年には赤字収支

もし甲良町が今後どことも合併せずに単独で存続した場合、左図のように、平成二十年には赤字収支に転落するという厳しい状況にあります。

しかし、合併新法ができ、県の指導で彦根市等との合併協議が再開される可能性が高いであろうとのことです。




## ■下之郷区の将来構想

区長さんから、下之郷区の将来に関わる大きな課題として、

①次世代地域リーダーの育成
②地域（甲良）の収益活動をどうするか

の二点が懇談会テーマとして出され、それについて、まちづくり課や産業課の職員さんからいろんな助言をいただきました。

・今の若者は少数の気の合う仲間でいることが楽しく、規制されることを嫌う。コミュニケーションは携帯。そういう若者に対して従来の青年団活動では無理だろう。ゆるやかな集まりの場づくりがいるのではないか。雨森地区では野球部が郷づくりの力になったという。

また、若者を取り巻く地域の大人がどう変われるかだ。

・高知県の馬路村は、ゆずの生産加工販売で大成功した。そういう特産品をいかに作り出すか。「円城」「夢観音」といった日本酒醸造を試みている字もある。

「むかし食べてうまかったけれど、最近食べていないなあ」「もう一度食べてみたいなあ」というものがヒット商品になる可能性もある。

組合長さんからは、「町としての特産品を発掘する努力を」という提言もありました。

# おたけさんまつり

四月二十九日は五十告神社春季例祭、通称「おたけさんまつり」です。

お湯の奏上や、太々神楽の奉納があるのですが、一般区民の方はあまりご覧になっていないのではないでしょうか。

そこで、今回はおたけさんまつりの様子を詳しく紹介します。

祭礼は、貫名宮司と巫女さん、この三人で進行されます。

まず、五十告神社前で、祝詞奏上。氏子総代、区長、農業組合長、区評議員、各講宮世話、耕作者代表らが参拝します。

祝詞奏上の間に巫女さんがお湯上げの準備に入ります。

そして、祝詞奏上のあと、参拝者にお湯がかけられます。このお湯を浴びると一年間、無病息災であるといわれています。

この後、拝殿に上がり、二人の巫女さんによって太々神楽が奉納されます。

これは、農作物の豊穣を祈るもので、舞のなかほどでは、すきやくわを手に持った舞もあります。最後は五色の色紙が釜から舞い上がり、終わりとなります。

# 区民総出の除草作業

五月十五日(日)、区民総出の除草作業が行われました。ご苦労様でした。

また、区評議員さんで桃源郷・ちびっこ広場の除草作業も行われました。

ちびっこ広場の除草については、今後、３組単位で年二回除草を分担していくことがさきの協議員会で了承されました。

子どもたちの楽しい遊び場を安全なものとして維持管理していくために、区民のみなさんのご協力をよろしくお願いします。

# 花いっぱいの下之郷

今春の区内各組のパンジー花壇は、近年になくどこも見事な花をつけました。各組の世話が行き届いている成果ではないでしょうか。

そして、六月十一～十二日には、サルビアの定植が行われました。

花卉部会で育てていた苗が特大のヒョウによる被害で不足するという事態になり、申し訳ないことでしたが、何とか定植し終えることができました。

# 「あすけ」からの視察研修

六月二十四日（土）、愛知県豊田市足助町（あすけ）則定（のりさだ）地区から視察研修の一行が下之郷区を訪れました。

則定地区は、平成八年から郷づくりに取り組み始め、その頃一度甲良町を訪れておられます。その後、もう一度甲良町の取り組みに学びたいということで来られ、郷づくりの現地研修ということで当下之郷区を訪問されました。

則定地区は、山間に点在する集落で、立地条件はずいぶん違いますが、郷づくりにかける意気込みは強く、下之郷の取り組みから学ぼうと、予定時間を延長するほどの積極的な話し合いになりました。他地区との交流によって刺激をもらうのも、私たちの郷づくりにとって、重要なことだと実感した次第です。

## 営農コーナー

田植えが終わり、補植、溝きりも済んで今年の春の農作業も一段落といったところでしょうか。

六月上中旬にかけては麦の刈り取り作業。幸い好天に恵まれ、順調に進みました。

六月四日のヒョウで壊滅的な被害を受けた地区もあったようですが、下之郷は、大きな被害もなくてすみました。

## アイガモ放鳥

今年の梅雨は空梅雨のようで、今後の水不足が心配されます。一九九四年の大干ばつのようなことがないことを祈ります。

六月十日、辻孫六さんの田んぼに、甲良西・東保育園児が集まり、アイガモの放鳥が行われました。初めて見るアイガモに大騒ぎしながら、園児達は、一羽ずつ、水田にカモを放ちました。

## 西小だより

### ■ガチャコンポンプの寄贈

五月十四日（土）、彦根みずほライオンズクラブ創立二十五周年記念大会で写真のガチャコンポンプの目録贈呈が行われました。昔懐かしいガチャコンポンプの仕組みを学習することができ、また雨水を溜めて花壇の水としても利用することができます。大変ありがたく、水の有効利用を図りたいと考えています。

### ■田植体験

五月十二日（木）、二年生と五年生が学校田で田植えを体験しました。五年生は二年生の時に体験しているのである程度は慣れていますが、二年生は初めての体験です。

まだ足の力が十分でなく田圃でしりもちをつく子どももありました。なお、苗（日本晴）は近くの澤農園からいただきました。

### 一学期 今後の予定

○七月二十日　終業式

○七月二十一日～二十三日　６年野外活動（三重県大王町）

# 下之郷の歴史

## ふるさと大発見

### 桂城神社縁起

祭　神
少彦名命・仁徳天皇・宇多天皇・敦実親王・左大弁成頼・天御中主神以上六柱
相　殿　伊勢両宮
境内社　火伏神社・五十告神社
神　紋　丸に平四つ目紋
例　祭　四月十六日（四月中旬日曜日）九月十六日
本　殿　流造・銅板葺（旧桧皮葺）
名　称　明治以前は六所大権現または葛城社と称す

### 由緒略記

江州太守佐々木兵部大輔義経の臣犬上大和介政誠は治暦三丁未年（一〇六七）四月二十一日に下之郷の産土神として勧請建立した。応永四丁丑年（一三九七）にいたり佐々木京極氏は下之郷に城を築き歴代城主（はじめ京極のち多賀を称し、三代城主多賀豊後守高忠は京都侍所所司代の要職をつとめ特に有名である。）は往祖の神霊なりと朝拝怠らず神威は近在八町・八目・石畑・四十九院・雨降野にも及び六所の産土神としたので神威いやがうえにも高まった。

明治四年桂城神社と改名、翌五年郷社に列せられた。

明治八年下之郷は全村焼失に近い災害に見舞われ、この大火の原因が、永禄年中に落城戦死した城兵らの霊によるとの民意押さえ難く、翌九年城跡にあった祠を境内地に移し五十告神社として祭った。おたけさん祭りである。

### 山の神講

桂城神社では毎年正月九日に六小路（金堂・北金堂・市場・北市場・高座・二階堂）に山の神（山の神は水の神であり五穀豊穣を保証する神）を分神して小路毎に豊作を祈願する。

講宿（おこない宿）では若衆は人としての規律を確認しあう場でもある。

# 難解語に挑戦！⑦

左の漢字は何という植物の名前でしょうか?よみがなを書いて集会所までお届け下さい。全問正解の方には粗品を進呈します。

●枇杷　（　　）
●檸檬　（　　）
●瓢箪　（　　）
●藺草　（　　）
●芥子　（　　）
●甘藍　（　　）
●辣韮　（　　）
●梔子　（　　）
●石榴　（　　）
●茄子　（　　）
●椰子　（　　）

【前回の答】

●紫陽花（あじさい　）
●百日紅（さるすべり）
●女郎花（おみなえし）
●万年青（おもと　）
●仙人掌（さぼてん　）
●公孫樹（いちょう　）
●玉蜀黍（とうもろこし）
●山茶花（さざんか　）
●向日葵（ひまわり　）
●蒲公英（たんぽぽ　）

【正解者】

神辺幸夫さん 阪東和美さん
上野文子さん 川並千町さん
西堀利江さん 安澤春枝さん
上野璃子さん 古川きささん
阪東ちよさん 藤居由衣さん
木村　和さん 安澤美佐子さん 川並孝裕さん 阪東きぬさん 松宮光子さん
上野美幸さん 二階堂恵子さん　※公孫樹……コウソンジュも正解。

## 短歌クラブ５月の詠草から

春風に降りて舞い散る寺の庭花びら湯飲みに弁当にそそぐ　上野　りゑ

通り行く電車の車輪凝視する若き生命(いのち)をうばいし事故よ　藤居　和子

ひらめきをすぐノートに書き写すさっと消えゆく記憶おさえて　川並　千町

田植機はリズム持ちつつ平静に釘打つ如く苗を植えゆく　川並　みよ子

## ＝ひとこと＝

・むずかしかったので、辞典を見ながら勉強しました。全部答ができるとほっとします。　二階堂恵子さん

・植え付けの最中でも考えるって事はいいことでした。色々と問題を出してくださる方、おいそがしいのにありがとうございます。　阪東きぬさん

・とうもろこしがこんな字だとは思いませんでした。夏祭りのとき、この字で売ったら何だと思う人もいるのでは……。　川並孝裕さん

・むつかしい漢字はついひらがなで書くくせがありますので、漢字を覚えても名前が思い出せず、辞典とにらめっこしました。　木村和さん

・二人の孫のおめでたに、小さい頃を思いしだし、月日の立つ早さを感じ、どうか幸せにすごしてほしいと念じるこの頃です。　阪東ちよさん

・ふれあいのつどいってとても楽しいです。人はいつでもどこにいても新雪にすることが大切だと思いました。　古川きささん

・大変難しい問題ですが、家族で頭をひねりながらよい勉強になります。たまには学生向きをだしてほしいです。　上野璃子さん

・全問正解とは頭の方がついて行けず、やはり辞書にたよりました。いつもよい勉強になりありがとうございます。　川並千町さん

・サクランボの木に沢山の実を付けました。赤くなるのを楽しみに毎日家族が見つめています。　阪東和美さん

・身近で老人である私の身を案じて「無理しななあ」とやさしい声を掛けてくださり、元気が頂けてとてもうれしいです。又、子どもたちに字内で出会うとこちらから「おはよう」「おかえり」と挨拶をしますとよい返事を聞くことが出来た時には、年寄りに生きる力を与えてもらって有難いです。　上野文子さん

## 編集後記

このところクイズコーナーが人気のようで、たくさんの区民の方が応募してくださいます。解答用紙に添えられた一言がそれぞれ味わいぶかく、楽しく読ませていただいております。こうした区民のみなさんの普段着の声をこれからもどしどしお寄せください。（賞品の準備が頭痛の種ですが……）

## 再度お願い　路上駐車

依然として、区内数カ所、公共の道路上に違法駐車されている車が目に付きます。

他所の車であれば、「違法駐車をやめてください。」とはっきり言えるのですが、同じ区民同士なので、気まずくなるのを恐れて黙認してしまっているというのが現状です。

どうか、個々の良識でご判断いただきますよう、繰り返しお願い申し上げます。

## お知らせ　農事集会所が「一時避難場所」に指定

台風・地震等の災害発生時の区民の緊急避難場所として農事集会所が指定されました。お知りおきください。